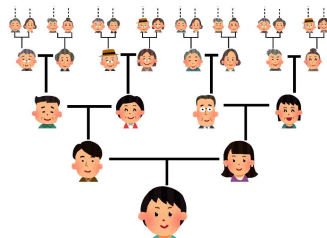


命のバトン ～ 奇跡の命 ～

船引小学校長 安生昌弘

みんなは、誰でもお父さんとお母さんとの間に生まれました。そして、お父さんは、そのお父さんとお母さん、みんなから見ると、おじいちゃんとおばあちゃんとの間に生まれ、お母さんは、そのお父さんとお母さん、みんなから見ると、おじいちゃんとおばあちゃんとの間に生まれました。だから、一人の子どもである、みんなは、4人のおじいちゃんやおばあちゃんが居てくれたので、今、ここに居るのですよね。

もう少し、昔まで考えてみます。曾おじいちゃんや曾おばあちゃんまで考えると、みんなには、それぞれ4人のおじいちゃん、おばあちゃんの2倍の8人の曾おじいちゃんと曾おばあちゃんがいるわけです。1代前のお父さんとお母さんが2人、2代前のおじいちゃんとおばあちゃんが4人、3代前の曾おじいちゃんと曾おばあちゃんが8人なんだね。その上、4代前になると、もうそれはご先祖様と言えますね。算数が得意な人は分かっていますね。そう16人です。みんな一人一人は、ご先祖様16人全員が自分たちの子どもが生まれるまで元気で生きていないと、みんなは今、船引小に居ないんです。実は、ご先祖様16人の頃は、日本に大きな戦争があった昭和の時代で、300万人と言いますから、当時の日本国民の30人に1人以上の兵隊さんや普通の人々が死んでしまったのです。そんな厳しい時代を生き抜いたご先祖様の命を引き継いでいるのが、みんななのです。命のバトンを奇跡的に引き継いでいるみたいですよ。



その厳しい戦争の前の大正時代と言われる5代前になると32人のご先祖様になりますが、まだずっと続いています。ずっとずっと昔になって20代前になると、一人のあなたのご先祖様は何人になると思いますか。何と 1,048,756 人（百四万八千七百五十六人）になるんです。すごい人数ですよ。その中のたった一人でも居なかったら、あなたは、ここに居ないんです。20代前というのは戦国時代と言って、日本中のお侍が刀や槍、火縄銃などで戦争をしていた時代です。その時代を生き抜いた、ご先祖様の命をみんなは受け継いでいるんです。奇跡ですよ。

そんな“奇跡の命”を持っている、みんなは、どうしなくちゃいけないと思いますか。生まれてきたからには、例え小さなことでもいいので、一生の内に何かを成し遂げなくちゃならないと思います。自分の夢を持って、それを叶えるのが一番良いのだけれど、「今は夢がないよ」と言う人にも良い方法があります。それは、『えい、えい、おう』です。



よく、スポーツの試合の前などに力を合わせて頑張るぞーと声を出しますよね。これは元々、侍の戦の前に大将が「さあ、みんな、戦うぞ」という意味で『えい（鋭意）、えい（鋭意）』と呼びかけ、みんなが「やるぞー」という意味で『おう（応）』と応えたのだそうです。（諸説あります）つまり、先生や家の人に「やってみよう」と言われたことに対しては、「えー？」じゃなくて「よーし!」と、すぐにやってみることが大切なんです。素早く始めてみるのがコツです。「下手の考え、休むに似たり」という言葉もあります。「考えてばかりで何もしないのは、休憩していることと同じで、時間の無駄だ」という意味です。まずは何かを始めることが、受け継がれてきた“奇跡の命”を大切にすることなんです。

最後に全校生のみんなに一言です。私は定年退職で3月末に船小を去りますから、これが最後の全校集会の話です。一つでも話を覚えてくれたら嬉しいです。1年間や2年間、話を聞いてくれてありがとう。